

2009.12.11 「二階議員と鳩山邦夫議員を処分すべきだ」

参議院議員の西田昌司です。今日、私の名前の記事が、12月11日の朝日新聞の朝刊に出ていました。このことについて、お話をさせていただきます。

この問題は、昨日、私の所属する清和政策研究会の総会での発言です。

「自民党の国会議員同志である二階俊博先生、鳩山邦夫先生についても、鳩山総理や小沢幹事長と同じような事案が出てきたことについて、党本部が処分をしないというのはおかしいのではないかと。これでは、我々がこれから小沢さんやさらには鳩山総理を追及する矛先が鈍ってしまう。もし、本当に我々が民主党政権を倒そうというのなら、身内だからこそ厳しい対応をしていかなければならない。まさに『泣いて馬鹿の斬る』その覚悟が、我々に求められているのだと思うのです。」

そのことを、私は、清和政策研究会で訴えました。

私と同じように考えている国会議員の方も沢山おられます。実は、その方々と一緒に、今日付で、党本部に対して申し入れを行いました。自民党が、1日も早く再生するためには、この問題において、自らの身内に甘いという態度を国民に示すようなことがあってはならないと思います。そして、もし、お二人の議員が、自ら身を処されて、仮に議員辞職をなされたらどうなるか。間違いなく、鳩山総理も小沢幹事長も辞めなければならない。そのことによって民主党政権を倒せるのです。私たちは、そのようなことも含めて、厳しい対応を、身内だからこそしっかりしていく。そして、民主党政権を追及する大きな一歩を築いていかなければならない。そんな思いで、これからも頑張っていきたいと思っております。

皆様方の御支援を、心よりお願い申し上げます。ありがとうございました。